

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3201799号
(U3201799)

(45) 発行日 平成28年1月7日 (2016.1.7)

(24) 登録日 平成27年12月9日 (2015.12.9)

(51) Int.Cl. F 1
A 4 3 B 3/26 (2006.01) A 4 3 B 3/26

評価書の請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 実願2015-4564 (U2015-4564)
(22) 出願日 平成27年8月20日 (2015.8.20)

(特許庁注：以下のものは登録商標)

1. マジックテープ

(73) 実用新案権者 515246797
株式会社ヨシハラ
大阪府大阪市旭区新森3丁目11番19号
(72) 考案者 吉原 嵩
大阪府大阪市旭区新森3丁目11番19号

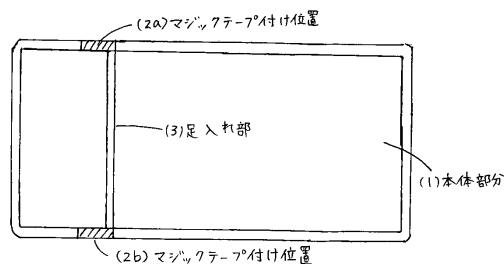
(54) 【考案の名称】 袋状足入れ付き敷きパッド

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 足部分の折り込み位置の調整ができる袋状足入れ付き敷きパッドを提供する。

【解決手段】 本体 1 の足側を折り込んだ足入れ部 3 を備え、足入れ部の両端の対向する重なる部分 2 a、2 b に面ファスナーを取り付け、面ファスナーの長さを長くすることで、折り込み位置の調節を可能にした。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

本体（１）の足側を折り込んだ足入れ部（３）を備え、足入れ部（３）の両端の対向する重なる部分（２a）（２b）にマジックテープを取り付け、マジックテープの長さを長くすることで、折り込み位置の調節を可能にしたことを特徴とする袋状足入れ付き敷きパッド。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【０００１】**

本案件は、袋状足入れ付き敷きパッドに関する。

10

【背景技術】**【０００２】**

従来の敷きパッドは、平面に作られている。また、足部分の折込があったとしても、端部分を縫い付けてあるものである。

【０００３】

しかしながら、従来の敷きパッドには、足部分の折込位置の両端にマジックテープがついておらず、足部分の折込位置の調整が不可能であった。

【先行技術文献】**【特許文献】****【０００４】**

20

【特許文献 1】実用新案登録第 3 1 0 9 7 6 9 号

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【０００５】**

本案件は、以上のような従来の欠点に鑑み、折込位置の両端にマジックテープをつけることで、足部分の折込位置の調整を可能にし、マジックテープ付き足入れ付き敷きパッドを提供することを目的としている。

【課題を解決するための手段】**【０００６】**

本体（１）の足側を折り込んだ足入れ部（３）を備え、足入れ部（３）の両端の対向する重なる部分（２a）（２b）にマジックテープを取り付け、マジックテープの長さを長くすることで、折り込み位置の調節を可能にしたことを特徴とする袋状足入れ付き敷きパッド。

30

【考案の効果】**【０００７】**

上述の様に、本考案にあっては次のような効果が得られる。

（１）折込位置の両端にマジックテープが取り付けられているので、折込位置が調節することが可能となる。したがって、個人の足に合わせた位置調節が可能となる。

【図面の簡単な説明】**【０００８】**

40

【図 1】本考案の袋状足入れ付き敷きパッドの構成

【図 2】本考案の袋状足入れ付き敷きパッドのマジックテープの付け位置をより詳しく示した図

【０００９】

敷きパッドの足側となる部分を折り曲げる。折り曲げた際に重なる部分の両端にマジックテープを取り付ける。また、マジックテープを取り付ける際に、接着面を長く付ける。それにより、足を入れる部分の丈の調節を行うことが出来る。

【考案を実施するための形態】**【００１０】**

以下、本考案の実施の形態を図に基づいて説明する。図 1 は本考案の平面図で本体

50

(1)の足側になる部分を折り返し、重なる部分(2a)と(2b)にマジックテープをつける。つける際に、マジックテープの付着面を長く付けることにより、足入れ部(3)の丈の調節が可能となる。また、図2は、より詳しく示した図である。

【産業上の利用可能性】

【0011】

本考案は、袋状足入れ付き敷きパッドを製造する産業で利用される。

【符号の説明】

【0012】

(1) 本体

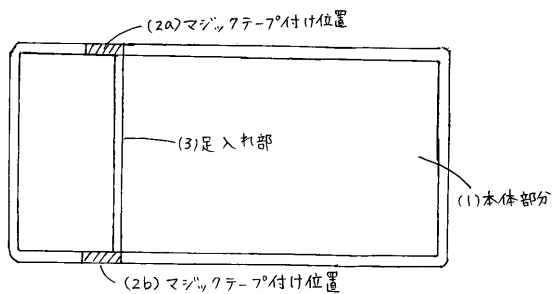
(2a) マジックテープ付け位置

(2b) マジックテープ付け位置

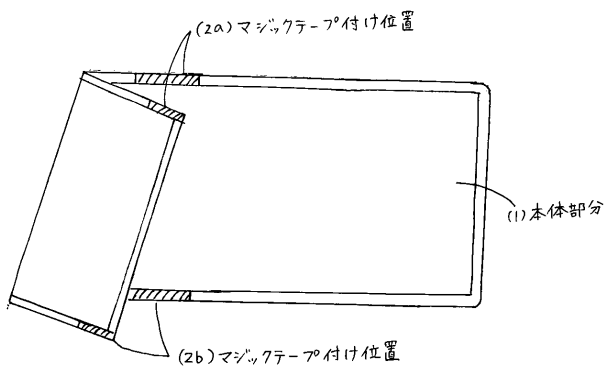
(3) 足入れ部

10

【図1】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成27年10月16日(2015.10.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

「本体(1)の足側を折り込んだ足入れ部(3)を備え、足入れ部(3)の両端の対向する重なる部分(2a)(2b)に面ファスナーを取り付け、面ファスナーの長さを長くすることで、折り込み位置の調節を可能にしたことを特徴とする袋状足入れ付き敷きパッド。」

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

しかしながら、従来の敷きパッドには、足部分の折込位置の両端に面ファスナーがついておらず、足部分の折込位置の調整が不可能であった。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本案件は、以上のような従来の欠点に鑑み、折込位置の両端に面ファスナーをつけることで、足部分の折込位置の調整を可能にし、面ファスナー付き足入れ付き敷きパッドを提供することを目的としている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本体(1)の足側を折り込んだ足入れ部(3)を備え、足入れ部(3)の両端の対向する重なる部分(2a)(2b)に面ファスナーを取り付け、面ファスナーの長さを長くすることで、折込位置の調節を可能にしたことを特徴とする袋状足入れ付き敷きパッド。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述の様に、本考案にあっては次のような効果が得られる。

(1) 折込位置の両端に面ファスナーが取り付けられているので、折込位置を調節することが可能となる。したがって、個人の足に合わせた位置調節が可能となる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

【図１】本考案の袋状足入れ付き敷きパッドの構成

【図２】本考案の袋状足入れ付き敷きパッドの面ファスナーの付け位置をより詳しくした図

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

敷きパッドの足側となる部分を折り曲げる。折り曲げた際に重なる部分の両端に面ファスナーを取り付ける。また、面ファスナーを取り付ける際に、接着面を長く付ける。それにより、足を入れる部分の丈の調節を行うことが出来る。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

以下、本考案の実施の形態を図に基づいて説明する。図１は本考案の平面図で本体（１）の足側になる部分を折り返し、重なる部分（２ａ）と（２ｂ）に面ファスナーをつける。つける際に、面ファスナーの付着面を長く付けることにより、足入れ部（３）の丈の調節が可能となる。また、図２は、より詳しく示した図である。

【手続補正９】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

（１） 本体

（２ａ） 面ファスナー付け位置

（２ｂ） 面ファスナー付け位置

（３） 足入れ部

【手続補正１１】

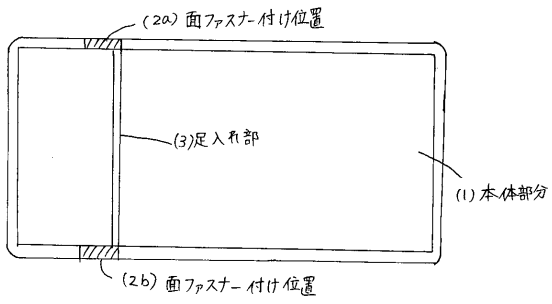
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 図 1 】



【 図 2 】

